

夏の谷津田はムシ天国

田島正子（船橋市）

日時：2014年7月20日（日）10時30分～12時

天候：曇り後晴れ

参加者：18名（大人11名 子ども7名）

担当指導員：晝間初枝・田島正子

雨の予報でしたが、時々陽が射す絶好の観察会日和となりました。初めに、「持ち込まない、持ち出さない」といういつもの約束事をして観察会のはじまりです。大勢の子どもたちが来ることを予想して、9マスのビンゴゲームを用意しました。ビンゴの真ん中のマスには「今日見つけた虫」を書いてもらいました。ミンミンゼミ、カナブン、クワガタ等、ねらう虫があるようです。

最初に下見時に見つけたアブラゼミの幼虫を見てもらいました。昨夜の豪雨で土から出るのをためらい、今朝、土から出てきたのでしょうか。ニイニイゼミの合唱のなかスタートすると、早くもノコギリクワガタがいました。クワガタは、子どもたちには一番人気の昆虫ですが、虫に馴染みのない子はこわがって触ることが出来ません。「大丈夫だよ」とうながし、指で少し触れることができました。勇気を出して虫を触ったことに拍手。虫と友達になる第一歩を踏み出せたかな？ みんな虫好きというわけではありませんので“一人一人の視線を大切に対応しなくては”と思います。暗いスギ林の中は、トウキョウヒメハンミョウやトホシテントウがたくさんおり、カップレンズに入れて観察しました。ニッポンマイマイなどのカタツムリも昨日の雨で元気になったのかよく這っていました。



アブラゼミの幼虫

明るく開けた谷津田に出ると、トンボやチョウがお出迎え。オニヤンマが空高く、行ったり来たり数えきれないほどたくさん飛んでいます。ヤゴもたくさん見つかりました。緑色の宝石のようなタマムシが「私も見てちょうだい」と飛んできて、その美しさにみんな「ウワー」と歓声。子どもたちは、シオカラトンボやオオシオカラトンボ、ノシメトンボを上手に捕まえ、トンボ捕りに夢中です。木の幹でマイマイガが産卵をしている様子も見ることができました。

時間を忘れるほど、大人も子どもも楽しんでいましたが、集合してまとめを行いました。「みんなビンゴはいくつできたかな」と言うと、「9つ」との答えが返ってきました。全部できると8個なので1つ多かったのですが、皆さん、たくさんの虫を見つけビンゴを完成したようです。参加者の方から、「普段自然と触れ合うことがないので、いい機会になった」、「いろいろ教えてもらうことができ楽しかった」との感想をいただきました。子どもたちは捕まえた虫を持って帰りたがりでしたが、「大草に住んでいる虫だから返そうね」と言って逃がしました。

マイマイガの産卵



元気な子どもたちのお陰で、たくさんの虫に出会えました。大草谷津田いきものの里がいつまでも「ムシ天国」でありますように！